

# 看護専門学校における学校運営

—教職員・学生が生き生きと輝くために—

1. 看護師養成という明確な組織目標にむけて教職員が一丸となる
2. 組織は人なり。教職員・学生を大切にする。
  - 1) 自由に発言し、意見交換できる風土の醸成
  - 2) 能力開発→積極的な研修の機会
  - 3) 適材適所→適切な業務分担と進行管理
  - 4) 仕事の成果への適切なフィードバック
  - 5) 会議・教務室は毎日がOJTの場

全教員で全学生を育て、学生に学ぶ養成所「共育」

17

# 看護師養成所の今後の課題

1. 臨床との乖離をなくす看護教育の充実  
(技術教育・コミュニケーション・自己教育力などの向上)
2. 18歳人口の減少、高学歴志向に伴う入学生数の確保
3. 専任教員は看護教育の宝。教員数の確保と資質向上支援及びワークライフバランス推進を
4. 実習施設の確保と連携
5. 養成に対する経済的支援
6. 4年化にむけての私見
  - 1) 教育期間の延長は必須。3年養成での努力による成果と限界
  - 2) 新卒者の6割を擁する専門学校の一律4年化は人材確保に影響  
大学教育と並存し、長期的計画が必要。
  - 3) 大学教育においては、養成所教育を適正に評価活用を
7. 養成期間を延長しても必要な臨床研修
  - 1) 基礎教育で無資格の学生が身体侵襲を伴う技術を行う限界。
  - 2) シュミレーションで学ぶ限界。
  - 3) 臨床と学校の連携が必要

18